



東京生糸商會定款

草案甲号

946



414
A 1071



東京生糸商會定款

本商會ヲ創立スル爲メ其株主一同協
議ノ上決定スル所ノ條々左ノ如シ

第一章

本支店設置及ビ名號ノ事

第一條 本商會ノ本店ハ東京日本橋區一

町一丁目一番地ニ取建ツベシ而シテ

其名號ハ東京生糸商會ト稱スベシ

第二條 本商會ノ支店ハ神奈川縣下橫濱

羣馬縣下前橋福島縣下福島神奈川縣下

八王子及ビ大阪府下大阪ニ取建ツベシ

而シテ其名號ハ東京生糸商會支店ト稱

スベシ

大正十一年四月
天隈侯爵郵寄贈

但營業ノ都合ニ因リ又出張所
ノ便利ノ地方ニ増置スル

第二章

資本金及ヒ株式券状ノ事

第一條 本商會ノ資本金ハ一萬圓ニシ
テ百圓ヲ以テ壹株トナシ總計ト一
株ト定ムベシ

但此資本金ハ株主中衆議ノ上漸々増
加スベキモノトス又時宜ニ依リ新
ニ株主ヲ募ルベシ

第二條 何人タリトモ(外國人ヲ除クノ外)
本商會ノ規則ヲ遵守シテ其株式ヲ引受
ケタルモノハ都テ本商會ノ株主タルベ

第三條 各株主タルモノハ其引受ケタル
株式一箇ニ付株式券状一通ヲ領受スル
ノ權利アルベシ
但其離形ハ左ノ如シ

第一號

大日本東京生糸商會株式券状

一 府下 一 國 一 郡 一 町 一 番地 一 殿儀本商會ノ
表 定款及ヒ申合規則ヲ確守シ明治一十年一月我東京生糸商
會株式ノ内金百圓即チ一株ノ株主タルト相違ナキ證據
トシテ此株式券状ニ本商會ノ印章ヲ押捺シ之ヲ付
與スルモノ也

面

此株式券状ヲ賣去讓與セント欲セバ本商會ハ持
參スベシ商會ニ於テ至當ノ檢査ヲ遂ゲ此券状裏面
枠内ノ頭取及ヒ監督記名調印上之ヲ差戻スベシ

東京生糸商會頭取

明治十四年一月一日

姓名印

同

監察部長

姓名印

同

營業部長

姓名印

東京生
糸商會
之印

裏

年号月日

賣渡人記名調印

買受人記名調印

頭取記名調印

監督記名調印

第四條 本商會ノ株式ハ頭取監督ノ許可ヲ受ケ本商會ノ簿冊ニ引合セタル上ニテ之ヲ賣買讓與スルヲ得ベシ尤モ其株券状ノ書替ヲ為サバ爾時ハ本商會ノ損益ハ新古ヲ論セス其株券状ノ名前人ニ負擔セシムベシ

第五條 定式總會ノ前後十日ヨリ多カラザル時間ハ株券ノ賣買授受ヲ停止シ株

券状ノ書改ヲ為サバ爾ベシ

第三章

役員撰舉ノ事

第一條 本商會ノ取締役ハ三十株以上ヲ所持スル株主ノ内ヨリ三人ヲ撰舉スベシ其撰舉會ハ發起主任ノ差定ムル時日場所ニ於テスベシ

但各取締役ハ其所有ノ株式中三十株丈ケノ券状ヲ本商會ニ預ケ其代リトシテ禁受授ノ印ヲ押シタル保護預リ証書ヲ受取リ置キ右取締役奉職中ハ決シテ之ヲ引出スルヲ得ザルベシ

第二條 此撰ニ應シタル取締役ハ衆議ヲ

以テ其中ヨリ一名ヲ撰擧シ之ヲ頭取ト為スベシ

第三條 頭取及ヒ取締役ハ衆議ヲ以テ取締役ノ内ヨリ一名ヲ撰擧シテ監察部長ト為シ又一名ヲ撰擧シテ營業部長ト為スベシ

第四條 頭取監察營業兩部長及ヒ取締役ノ在職年限ハ一ケ年間タルベシ故ニ第五條ノ故ヲ以テ放免スルノ外ハ必ス勤務スベシ

第五條 頭取及ヒ取締役タル者不適當ノ行為アル片ハ株主臨時會議ヲ催シ無名投票ヲ以テ三分ノ二以上ノ説ニ從ヒ之

ヲ退職セシムベシ

第六條 頭取監察營業兩部長及ヒ取締役ハ貳拾株以上ヲ所持スル株主ノ内ヨリ二名以上ヲ撰擧シテ監督ト為シ又五名以上ヲ撰擧シテ支配人ト為スベシ但拔郡事務ニ老練ナル者ハ此限ニアラス

第七條 前條ノ如ク撰擧サレタル監督及ヒ支配人ハ其所有ノ株式中貳拾株丈ケノ券狀ヲ本商會ニ預ケ置クヲ第一條ニ於ケルガ如シ

第八條 監事及ヒ世話役以下ノ役員ハ頭取及ヒ監督支配人以上協議ノ上社中又

東京市商會

ハ社外ヨリ適宜ニ之ヲ撰任スベシ
但奉職期限ハ一ケ年間トス其重年勤
續ヲ命シ或ハ期限内ニ放免スル等ハ
監督支配人以上ノ協議ニ由ルベシ

第四章

株主總會及ビ發言投票ノ事

第一條 取締役撰舉及ビ定款並ニ申合規

則ノ加除改正等凡テ社中一般ニ關係シ
タル事件ハ總會ニ於テ之ヲ議定スベシ

第二條 總會ハ之ヲ定式臨時ノ二様トス

定式總會ハ毎年七月五日ヨリ十五日マ
テノ内頭取ノ取極ル時日場所ニ於テス
ベシ臨時總會ハ頭取取締役ノ適當ナリ

ト思考スル場合ニ於テハ何時ニテモ招
集スルトヲ得ベシ又人員拾名ニ下ラス
其所持ノ株數本商會總株ノ五分ノ一ニ
下ラサル株主等ヨリ書面ヲ以テ臨時總
會ノ請求アルニ於テハ何時ニテモ之ヲ
招集セザルヲ得ザルベシ

但此請求書ニハ總會ヲ要スル事件目
的ヲ記載シテ之ヲ本店ニ差出スベシ

第三條 本店ニ於テ若シ十日以上謂レテ
ク其手續ヲ怠リタル片ハ請求人等自ラ
之ヲ招集スルトヲ得ベシ

第四條 凡ソ總會ニ於テ事ヲ評議處分ス
ルニ當テハ株主ノ總員(本人又ハ代人共

十分ノ五以上之ニ出席スルニアラザレ
ハ利益金配當ノ報告一件ヲ除クノ外何
事ヲモ着手スベカラズ

第五條 頭取若シ總會ノ刻限ヨリ十五分
時間ヲ過キ尚ホ臨席セザルキハ出席ノ
株主中ヨリ一名ヲ撰舉シテ之ヲ議長ト
為スベシ

第六條 凡ソ總會ノ決議ハ衆評ヲ採ルベ
シ而シテ決議濟ノ次第ヲ商會ノ簿冊ニ
登録シ議長之ニ記名調印シ以テ後日ノ
參觀證據ニ備ヘ置クベシ

第七條 凡ソ總會ニ當リ發言投票ノ數相
半スルキハ議長ノ助說決票ヲ以テ之ヲ

裁決スベシ

第八條 議長ヨリ會員ヘ散會ヲ命シ其席
ヲ退キタル後ハ會負擅ニ何事ヲモ議ス
ヘカラズ

第九條 各株主ハ其所持ノ株數拾箇迄ハ
一株毎ニ一説又十一株以上百株迄ハ五
株毎ニ一説宛ノ發言投票ヲ為スベキ權
利アルベシ

第十條 發言投票ハ本人幼弱又ハ病氣等
ノ事故アレバ代人ニテモ妨ゲナシ然ル
時ハ左ノ委任狀ヲ代人ニ渡スベシ

委任狀ノ事

明治十一年一月一日東京生糸商會ノ定式(又ハ臨時)
總會ニ於テ何某ヲ拙者代人トシテ發言投票為
致候仍テ委任狀如件

東京生糸商會株主

明治十一年一月一日

姓名印

東京生糸商會

御中

第十一條 本商會ノ役員タル者ハ他人ノ
代人トナリテ發言投票スルノ權利ヲ有
スルヲ得ス又ハ第二章第六條ノ手數
ヲ了ラズシテ株式券狀ヲ質入抵當トナ
シタル者ハ其質入抵當ト為シタル時間

ハ其株高ニ對シタル發言投票ノ權利ナ
カルベシ

第十二條 第十一條ノ事故ニ由リ代人ヲ
出スキハ必ス本商會株主中ノ者ニ委託
スベシ若シ代人ヲ差出サズシテ決議ノ
後如何様ナル異論アルモ一切之ヲ申立
ルヲ得ザルベシ

第五章

役員並ニ役員職務上ニ於ケル
權限ノ事

第一條 本商會ノ役員ト稱スルモノハ左
如シ
取締役 六人以上十二人以下

頭取
監察部長
營業部長

一人
一人
一人

内

監督

二人以上

支配人

三人以上

監事

二人以上

世話役

五人以上

副監事

二人以上

副世話役

五人以上

書役

三人以上

出納方

五人以上

計算法

三人

貸付方

五人以上

人員未定

為替方

五人以上

但事務ノ繁閑ニ因リ便宜ニ之ヲ増減スベシ

第二條

頭取ハ本商會ノ事務ヲ總轄シ他役員ヲ指揮シ本商會營業一切ノ責ニ任スベシ

第三條

頭取ハ本商會ノ全体ニ注意シ一切ノ事務ヲ處分シ總テ其責ニ任スベシ然レモ新タニ事ヲ起シ又ハ既定ノ規程ヲ更正シ或ハ之ヲ廢止スル等ノ如キハ取締役ノ協議ヲ經ルニアラザレバ之ヲ施行スルヲ得ス

第四條

頭取關席スル片ハ其代理ヲ監察

營業兩部ノ内ニ委任スベシ

第五條 頭取ハ定式臨時總會及ヒ取締役並ニ監督支配人以上ノ集會ニ臨ミ常ニ其議長トナリ其議事ヲ判決スルノ權アルベシ又取締役及ヒ監督支配人撰舉ノ衆議ニ異論起ル時ハ之ヲ裁決スベキ委員ヲ取定ムルノ權アルベシ

第六條 監察部長ハ常ニ頭取ヲ翼成シ而シテ監察部一般ノ總管理タルベシ故ニ本商會營業上ノ事ヲ監察シ正確ヲ保全スルノ責ニ任スベシ
第七條 營業部長ハ常ニ頭取ヲ翼成シ而シテ營業一般ノ總管理タルベシ故ニ本

商會營業上ノ事ヲ負擔シテ繁昌ヲ謀ルノ責ニ任スベシ

第八條 取締役ハ每週一日或ハ臨時ノ集會ヲ爲シ商會營業ノ要件ヲ議定スベシ但議定セシ要件ハ都テ會議要件録ニ登錄シ各小印ヲ捺シテ後証ニ供スベシ

第九條 頭取監察營業兩部長及ヒ取締役ハ本商會ノ營業上及ヒ事務上ニ緊要ナル申合規則ヲ議定スルノ權アルベシ
第十條 監督支配人ハ頭取取締役ノ差圖ヲ受ケ各係リノ事務ヲ引受ケ頭取取締役ニ對シ之ヲ調理スルノ責ニ任スベシ

シ又其部法ニ於テ監事世話役以下ノ役
負ヲ撰任シ其分掌ノ課程權限給料等ヲ
定メ商會ノ得失ヲ考ヘ同僚ノ衆議ヲ經
テ決テ頭取及ヒ其部長ニ取り以テ此役
員ヲ進退黜陟スルノ權アルベシ將夕社
中差違ノ事ヲ判決シ及ヒ其部内ニ於ケ
ル凡百ノ施設上ニ付其順序ヲ立テ議案
ヲ草シ之ヲ頭取及ヒ部長ニ申陳シ社中
ノ疑問ニ答辯シ又ハ社中ノ衆議ヲ取テ
シガ為メニ臨時集會ヲ催スノ權アルベ
シ

第十一條 監察營業兩部長及ヒ監督支配
人ハ其部内ニ於ケル監事及ヒ世話役以

下ノ役員ヲ撰定スルニ付其身元引受人
ヲ約スベシ而シテ是等ノ役員規則ヲ犯
スカ又ハ其事務ヲ怠ル等ノトアルハ
相當ノ懲戒ヲ行ヒ又ハ引受人ニ迫リテ
其償ヲ要求スルノ權アルベシ

第十二條 營業部長及ヒ支配人ハ問屋ノ
入社退社ヲ許シ又ハ拒止シ及ヒ申合規
則ニ照ラシテ其事務ヲ處分スベシ
但是等ノ處分ニ於テハ其決テ頭取ニ
取り以テ之ヲ施行スベシ

第六章

營業並ニ印章ノ事

第一條 本商會ハ内國人ヲシテ生糸ヲ内

外國人ノ賣捌カセ其品格ノ檢査及ヒ製
糸注文ノ取次製糸資本貸付生糸抵當貸
付並ニ生糸荷為換等ヲ為ス所トス又時
宜ニ由リテハ外國ノ直輸出ヲ施行スベ
シ

第二條 本商會ノ營業年限ハ開業ノ日ヨ
リ滿十ヶ年タルベシ滿期ノ上尚永續ヲ
望ムルハ株主中協議ノ上更ニ此業ヲ接
續スベシ

第三條 本商會ニ用ユル印章ハ左ノ如シ

第七章

高議委員撰舉及ヒ高議會ノ事

第一條 本商會營業ノ確實ナルヲ保全ス
ル為メニ株主中ヨリ(役員ヲ除キ)十二名
ヲ撰任スベシ
但高議委員ハ株主ノ總代タルベシ故
ニ定式總會ニ於テ株主ノ投票公撰ス
ベキモノトス

第二條 高議會ハ隔月ニ一回ツ、開會ス
ルヲ定例トス又都合ニ因リテハ臨時之
ヲ開クベシ

第三條 頭取及ビ監督支配人以上ハ商議會ノ議員タルベシ故ニ支店ニ於テハ監督支配人申合一名出會スベキモノトス而シテ商議委員ト共ニ營業上ノ得失ヲ議スベシ

第四條 商議委員ニアラザル株主ニテ此商議會ハ陳言スベキ事柄アル片ハ書面ヲ以テ之ヲ陳スベシ而シテ其取捨ニ至テハ商議委員ノ衆議ニ從フベシ

第五條 商議會ノ議長ハ頭取及ビ監察營業兩部長ノ内ニテ之ニ當ルベシ

第六條 商議會ニ於テ議定シタル要件ハ都テ簿冊ニ登録シ各小印ヲ捺シテ後証

ニ供スベシ

第八章

問屋ノ事

第一條 本商會ニ於テ生糸ノ賣買ヲ為シ又ハ他人ノ依頼ヲ受ケテ賣買ヲ為ス者ヲ以テ總テ問屋ト稱スベシ

第二條 問屋ハ本商會ノ株主ニシテ拾株以上ヲ有スル者ニ限ルベシ

第三條 本商會ノ問屋トナラント欲スル者ハ書面ヲ以テ本支店ノ支配人ニ申出ツベシ然ル片ハ支配人ヨリ部長ニ稟議シテ差支ナシト思慮スル片ハ其所有ノ株券状拾箇ヲ受取りタル上問屋ノ証券

ヲ渡スベシ

但該株券状ハ之ヲ本商會ニ預リ置キ
其代トシテ保護預リ状ヲ渡シ置ケベ
シ

第四條

問屋入社ノ期ヲ一ケ年トス故ニ
接續入社セントスル片ハ期限二週日前
ニ其旨ヲ支配人ニ申出ツベシ支配人ハ
部長ニ稟議シタル上故障ナキヲ認テ之
ヲ許スベシ

第五條

問屋ハ何時ニテモ本商會役員ノ
要求ニ因リ生糸營業上ノ帳簿ヲ差出ス
ベシ若シ其要求ヲ拒ミ又ハ帳簿ニ不正
ノトアル片ハ都テ違約人ノ例ヲ以テ之

ヲ處分スベシ

第六條

問屋退職ヲ望ム片ハ前條ノ手續
ヲ以テ之ヲ申出ツベシ然ル片ハ問屋ノ
証券ヲ返還シタル上之ヲ許シ預リ置キ
タル株式券状ヲ返付スベシ

第七條

問屋若シ本商會ニ於テ不正ノ所
業アルヲ以テ之ヲ除名スル場合ニ至ッ
テハ監督支配人以上協議ノ上預リ置ク
所ノ株券状ヲ没收スベシ若シ該株券状
ニテ不足ナル片ハ別ニ相當ノ罰金ヲ課
スルトアルベシ

第八條

除名ノ處分ヲ受ケタル問屋ハ其
負債ノ義務ヲ了シタル上ハ更ニ問屋タ

ルヲ乞ヒ得ベキモノトス

第九章

株主心得ノ事

第一條 本商會ノ株主諸帳簿ヲ閱覽セシト欲スル片ハ頭取及ヒ監督支配人ノ許可ヲ得テ事務ノ妨碍ニナラザル時間ハ看了スベシ

第二條 株主ハ何等ノ事故アルモ商會解散ノ期ニ至ラザル間ハ其株金ヲ取戻スルヲ得ス

第三條 株主其株式券状ヲ賣買讓與セシトスル片ハ其趣ヲ書面ニ認メ株券状ニ添テ商會ハ差出スベシ商會ニ於テハ第

二章第六條ニ照シ其手續ヲ遂ケ而シテ

其株券状ハ之ヲ新株主ニ渡スベシ但手數料トシテ券状一箇ニ付金貳拾

五錢宛ヲ本商會ハ拂フベシ

第四條 株主若シ過テ其株券ヲ汚染敗裂

セシ等ノ了アル片ハ其旨ヲ書面ニ認メ券状ニ添テ之ヲ持參シ其書替ヲ請求ス

ベシ若シ之ヲ焼失シ又ハ紛失シタル片ハ其事實ヲ書面ニ認メ二人以上ノ保証人

ヲ立テ更ニ新券状ヲ請求スベシ尤モ其紛失ニ係ルモノハ本商會ニ於テ之ヲ世

上ニ廣告シ滿三ヶ月ヲ經ルモ尚其所在ヲ得ガルニ於テハ更ニ新券状ヲ渡スベ

但券状一枚ニ付貳拾五錢宛ノ手数料
ヲ本商會ハ拂フベシ又紛失ニ由リ廣
告ヲ要スル片ハ其廣告料ヲモ拂フベ
シ

第二章

利益金分配ノ事

第一條 毎年兩度其半季内ニ取立タル總
益金ノ内ヨリ役員給料旅費創業費其他
一切ノ經費並ニ役員賞與金等ヲ引去リ
其殘金ヲ以テ純益金ト為シ尚其内ヨリ
積立金ヲ引キ其殘額ヲ株主配當金ト定
メ渾テ總會ニ於テ詳細ニ之ヲ報告シ會

議ニ付スベシ

第二條 積立金ハ純益金高ノ一割(即百分
ノ拾)ニ當ル高タルベシ

但積立金ハ資本金額ノ二割ニ至ル迄
ヲ目的トスベシ其定限ニ充テタル上
ハ之ヲ積立ルモ又ハ之ヲ配賦スルモ
其時ノ決議ニ任ズベシ

第三條 若シ本商會ニ損失アリテ資本金
不足ヲ生ズル片ハ頭取及ヒ監督取締役
ヨリ其顛末計算ヲ株主一同ニ公告シ爾
後得ル所ノ利益ヲ以テ其不足ヲ補ヒ了
ル迄ハ配當ヲ止ルテアルベシ

第十一章

株主ノ報告ノ事

第一條 株主ノ總會ハ定式臨時共各株主
ハノ報知ハ郵便到着日數ヲ除キ少クモ
其會日前二日前ニ郵便其他ノ手續ヲ以
テ通達スベシ

第二條 定式總會ニ於テ議長ヨリ報告シ
タル當季取扱ヒノ考課狀勘定報告並ニ
當日決議ノ件々ハ印刷ノ上便宜ノ方法
ヲ以テ各株主ハ送付スベシ

第十二章

定款更正ノ事

第一條 此定款ハ本商會株主ノ衆議ニ依
リ之ヲ加除更正スルヲ得ベシ

右ノ條ハ株主ノ衆議ヲ以テ相定メタル
証據トシテ各姓名ヲ自記シ調印致候也

株主

明治十四年 月



